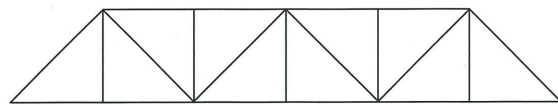




八潮団地と東京モノレール

しながわ



鉄道100景

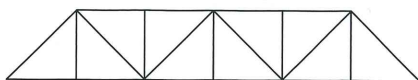
鉄道から地形と土木と人の営みを旅する

渡邊 茂樹 写真展

2021. 3/5 *fri.* - 17 *wed.*

open 10:00~20:00 close Thursday
photo kanon gallery

しながわ



鉄道100景

鉄道から地形と土木と人の営みを旅する

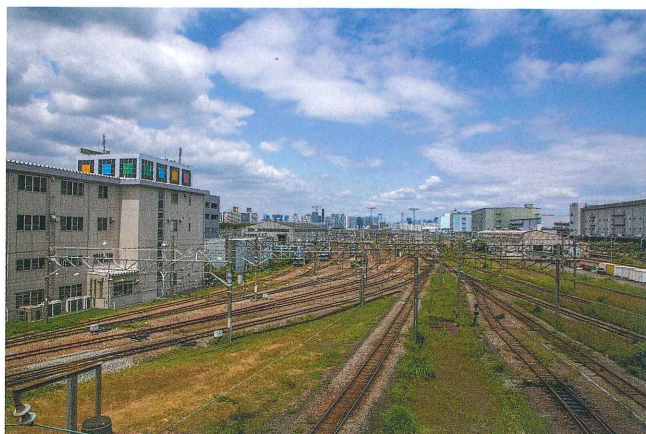
多くの鉄道が乗り入れる品川区。鉄道は時に地下や崖の下を、時に高架の上を通ります。しかし、それは鉄道が上に登ったり、下に降りるのを繰り返している訳ではありません。山や丘では低いところを、低地では高い所を走り、できるだけ高低差をつけないように走っているのです。鉄道を観ることは、街を歩きながらに等高線を眺めているようなもの、と感じています。鉄道の姿は、その土地の地形と密接に結びついているのです。

もちろん、単純に地形だけに鉄道の姿が決められる訳ではありません。人の営みの都合によって地下に潜ることになったり、地面から高架の上を走ることになったりします。埋立地を造成したり丘を削ったりして、広大な車両基地が生まれたりもします。地形と土木によって、鉄道のある風景は様々な表情を見せてくれます。それをいたるところで感じることができるのが、この品川区です。この土地が地形に富み、多くの鉄道が走るからこそ生まれる数々の相克の風景です。

古くから人の往来があり、宿場町として栄えた歴史のある品川は、人為とは切っても切り離せません。鉄道の周りに広がる寺社、商店街、木造家屋、工場、高層マンションといった人が作った風景は、同じ品川と言っても様々な表情がそれぞれの土地にあることを気づかせてくれます。鉄道のある風景は、その地域の人々の歴史や営みまでも教えてくれます。

「しながわ鉄道100景」から品川区の地形と土木と人の営みを旅してもらえたら嬉しいです。

後援：一般社団法人 しながわ観光協会



東京貨物ターミナル駅



新幹線と別れる湘南新宿ライン



池上線大崎広小路ガード下



花房山と湘南新宿ライン



渡邊 茂樹 Photographer / 通訳案内士

品川区出身。上智大学法学部卒業後、会社員を経て写真家の渡部さとる氏に師事。独立後は雑誌「東京人」「プレジデント」などの雑誌や広報誌にて「街」「人」「食」の撮影を中心に活動。近年ではしながわ観光協会、ケーブルテレビ品川、品川区商店街連合会など、地域に根ざした団体との仕事も積極的に行う。本作は地元しながわをテーマにした写真展「戸越銀座の一人一冊」「戸越界隈の一人一冊with MOP!」に続く第三弾である。



フォトカノン戸越銀座店

〒142-0041 東京都品川区戸越2-1-3
Tel. 03-5498-1641
www.photokanon.com
会期：3/5(金)～17(水)
open10:00～20:00
※3/11(木)お休み